

「区」編成見直し指示（促進）をお願いしたい

【ご意見】（令和7年2月26日受付）

長年の課題ですが、「各組（常会）の世帯数のバランスが崩れているため、区役員（組長）のなり手の不均衡（負担の不公平）」が生じています。例えばある地区を例にとると「5世帯程度の組がある一方で20世帯クラスの大規模な組が存在する」状況にあります。これにより次の問題が生じています。

- ・組長は原則「輪番」で回しているため、小規模の組に所属する世帯は組長が頻繁に回ってくる。区役員は組長の中から選任されるため、「役員を担う機会が必然的に多くなる（一方、大規模の組の世帯は「20年に一度しか組長とならない」ため、自ずと役員となる可能性が限りなく低くなる。）」。

※私の所属する組のように高齢化の進んでいる組は「世帯数より、組長を担える実際の世帯は少ない（高齢者に組長を担っていただくことは難しい）」実態もあります。

- ・結果、「複数回、区長などの役員を受けざるを得ない方がいる」状況も生じてしまっています。その方々の負担・ストレスいかにほか。

以上から、「区内の組編成（線引き見直し）」が早急に必要です。あまりにも不均衡な状況が続けば、「区から脱退する」方が出るのも容易に想像できます。区費負担や「一律の赤い羽根募金」などからも逃避できるわけですから（区に所属しているメリットが感じられない人も多いでしょう）。

なお、私が組長をやっていた際、この提案を区長に陳情しました。しかしながらその後具体的な検討はなされていません。区長の任期では「検討・実施が現実的に難しい」ことも理解できます。

そこで、こうした組編成見直しを市の関与強化・支援を通じ促進してほしいと考えます。

見えない負担（不公平）が市外への転居など市政の痛手とならぬよう、前向きな対応を心から願います。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答】

他の区・自治会においても、人口減少・高齢化の影響により運営に苦慮している状況をお聞きしております。

区・自治会は市と住民をつなぐ大切なパイプ役の存在である一方、地域住民による主体的な自治組織であることから、組織編成（組や常会の構成）等について、市から積極的に働きかけることは難しいのが現状です。

市では、区長や役員の方からご相談をお受けし、組・常会の統合や再編成、区独自の行事・事業等の見直しの検討について提案させていただいております。

状況に応じた組織編成の見直しや時代に沿った区の行事、役員の仕事の見直しなど、区民の負担が軽減されるよう、取り組みを始めている区もあります。

区長や役員だけでは任期的にも負担量的にも取り組むことが難しいとのことであれば、任期や役職等にこだわらない組織編成を考える部会などを区の中で別に作っていただき、改善に取り組むことも一案です。

なお、組・常会の統合や再編成を行うためには、区の総会に諮り、規約の改定を行うことが一般的ですので、組長等地区の役員や住民の方から総会等でご発言いただき、区の課題として問題提起をしていただき、区全体で課題を共有することが肝要です。

市でも区長・役員の負担増やなり手不足という課題に対し、市から依頼するものを削減・効率化し負担軽減に努めております。また、区長・自治会長の皆様には、年間を通じて相談をお受けしていることを改めて周知いたします。

担当課 市民生活課